

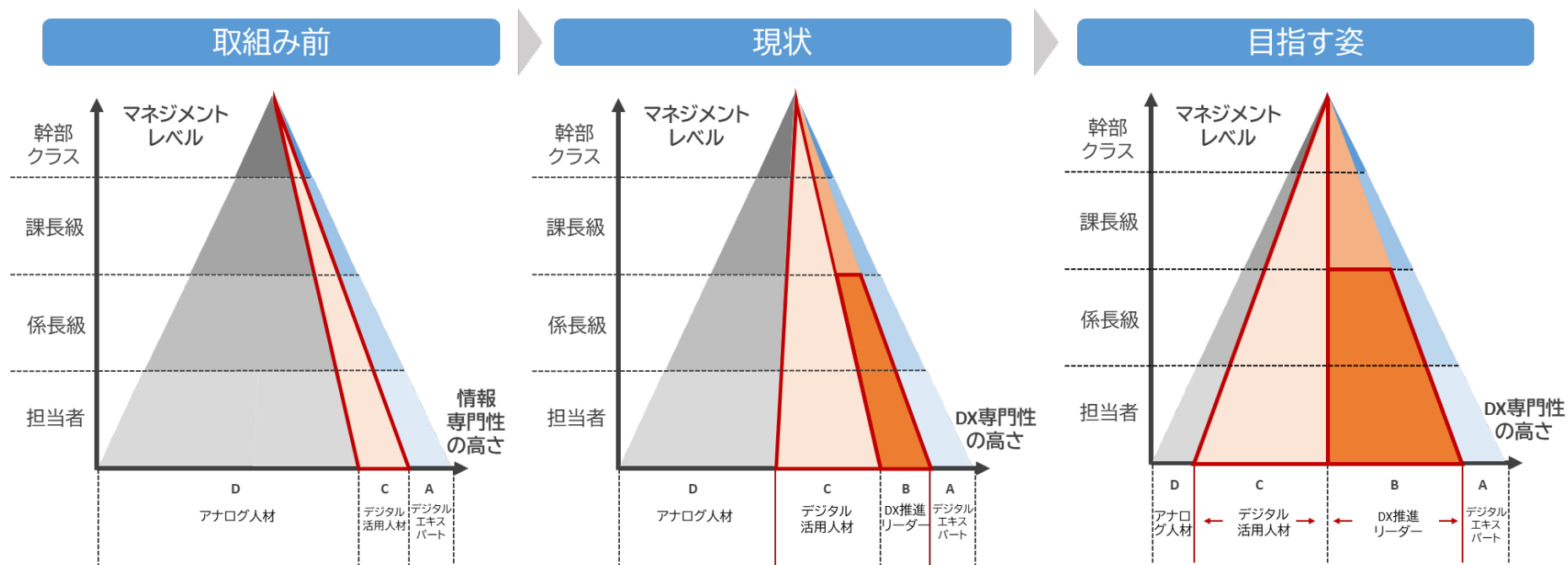
9 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】



➤ 係長級以下、管理職向けにそれぞれ人材育成支援を充実化。全職員のデジタルリテラシーの底上げから、DX推進の中心となる人材まで、目的に応じた個別研修を実施。

事業の概要

- 令和4年度から、全職員を対象とした「**DX基礎研修**」を実施し、デジタルを活用できる人材の裾野を広げるとともに、「**DX推進リーダー育成研修**」により、各所属のDXの中心となる人材を育成。
- 研修受講者等を「**DX推進リーダー**」として認定し、実績をあげた場合には手当の加算を行う制度を新設。
- 管理職向けにも階層別研修でマインドセットを実施するなど、目的に応じた個別研修を実施。



9 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】

事業効果



- DX推進において、各所属の中心となる職員を育成することで、各所属での業務改善事例が生まれている。
- 他の自治体から、当該事業に対して、問い合わせ・講演等の依頼を受ける機会が増えており、自団体以外への波及効果も出始めている。

コスト



※主にシステム導入等に係るコストを記載

イニシャルコスト ※税抜	－円	ランニングコスト(1年あたり) ※税抜	約4,232千円
(内訳)	－円	(内訳) ・研修費 ・通信料等	約4,040千円 約192千円
(備考)		(備考)	



スケジュール

検討開始から導入までの期間 (事業ごとに異なる)

スケジュールの内訳

例：DX推進リーダー育成研修の場合

R3.9～ 検討・事業者調整開始

R4.5～ 庁内周知

R4.6～ 研修開始

※以降各年度ごとに実施



サービス提供事業者等

サービス提供事業者

－

サービス名

Udemy Business

運用形態

クラウド型サービスを利用 (補助学習教材として利用)

その他参画主体

日本マイクロソフト株式会社 (包括連携協定に基づく研修支援)



担当部署 神戸市企画調整局デジタル戦略部

電話 －

メール digital_kikaku@city.kobe.lg.jp

9 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】



(総務省)

取組の経緯・きっかけを教えてください。

令和2年9月に策定した「行財政改革方針2025」において「スマート自治体」を目指すことを掲げています。

人口縮減時代においても持続可能な自治体経営・行政サービスを提供できる「スマート自治体」を実現するためには、**デジタル技術を積極的に活用して業務変革を進めることができる職員が必要不可欠**と考えており、「働き方改革ロードマップ2.0」に沿って全庁的なDX人材の育成と配置に取り組んでいます。



(神戸市)



近況や工夫している点を教えてください。

デジタル人材確保に関しては、**ジョブ型雇用として民間求人サービスを活用し任期付職員を採用**しているほか、人材紹介会社による専門人材派遣の活用や経験者を
通年採用するなど、様々な手段での採用を行っています。

人材育成に関しては、必要とされる専門性・レベルに応じて階層別に研修を実施していく方針で、**令和4年度からDX推進の中心となる人材を育成するための研修等を開始し、DX推進リーダーの認定**を行っています。

また令和7年度からは、DX推進リーダーが実績をあげた場合に手当を加算する制度を新設します。今後DX推進リーダーとなる層の活躍の場をさらに増やしていくには、**リーダーの役割の明確化と周囲の理解、育成後のキャリアパスの確立や全職員のデジタルリテラシー向上による底上げが必要**と考えています。



研修の対象人数、日数、研修時間、科目等を教えてください。

参考資料（DX推進リーダー育成研修）に詳細を記載していますので、ご確認ください。



取組にコストはかかりましたか。

外部人材確保に係る費用として**募集経費、報酬**などを要しています。
また、DXに関する**外部講師研修及びeラーニング利用費用**を要しています。



9 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】



(総務省)

他自治体からよく質問されることを教えてください。

① デジタル人材育成にかかる研修の具体的な実施内容

庁内のデジタルリテラシー向上のための、すそ野を広げる研修から、後述の参考資料に記載したようなDX推進に向けた研修まで幅広く実施しています。内容については、本市で必要となるスキル・ツールが変わりうるものであることから内製で検討しております。

② 職員の知識レベルの把握方法

DX推進リーダーを認定する制度をはじめたものの、本市においても、知識やスキルレベルの客観的な把握は難しいと考えており、**資格データの一元管理等、DX人材に関するデータ管理と活用を検討中です。**

③ デジタル人材のキャリア形成

庁内公募によりDX人材育成コースに配属した職員や上記研修により育成したデジタル人材については、習得したスキル等を活かし庁内の様々な分野でDXを推進していくことを期待していますが、**具体的なキャリアパスの提示等については本市でも課題**となっています。



今後の展望を教えてください。

人事・研修・業務改革・デジタルといった**各部門横断的に設置しているプロジェクトチーム**において、人材育成にかかる課題等について定期的に進捗を確認し、全庁的なDX人材の育成に向けて取り組む予定です。



(神戸市)



☆担当：神戸市 企画調整局 デジタル戦略部 ☆

【参考情報】 神戸市人口：150.0万人（令和6年1月1日現在）

関連URL：神戸市のDX（<https://www.city.kobe.lg.jp/a08691/dxtop.html>）

デジタルを活用した業務改革>働き方改革（業務改革）ロードマップ（<https://www.city.kobe.lg.jp/a69423/roadmap.html>）

9 「働き方改革ロードマップ2.0」に沿った全庁的なDX人材の育成【兵庫県神戸市】

参考資料(DX推進リーダー育成研修等)

DX推進リーダー育成研修

(1)研修内容	デジタル技術の習得及び現場のニーズに適した改善策を提案・実行できる現場のDXの中心的役割を担う人材を育成することを目的に実施
(2)対象人数	60名／年
(3)実施日程	講義、グループワーク、自主学習あわせて34h程度のボリューム
(4)プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎知識 (DXの意味、用語、神戸市のネットワークセキュリティ) ②テクニック (kintone、tableau、生成AIのハンズオン、RPAツールの紹介) ③トレンド (DXの事例紹介、最新の働き方) ④マインド (心構え、サービスデザイン思考、BPRの手法) ⑤グループワークによる業務改善の実践 ⑥自主学習 (AIの基礎、kintone学習)

その他階層別研修等

	対象	概要
(1)DX基礎研修	全職員	DXを進める必要性や、DXの意義など、基礎的な知識やトレンドの紹介をe-learningで研修
(2)階層別研修	課長級	昇任時研修にて管理職に必要なマインドセットや等級に応じた役割を説明
	新規採用	採用時研修にてDXの意義や庁内事例を紹介し、職員として持つべき視点をインプット